

MultiVac シリーズ粉体吸込み時の注意について

この度皆様により快適に製品をお使い頂くに当たり、特に粉体吸込み作業時のお取扱いにつきまして「粉体吸込み作業時の注意」をまとめましたので、保守・整備の参考にして頂きたく存じます。

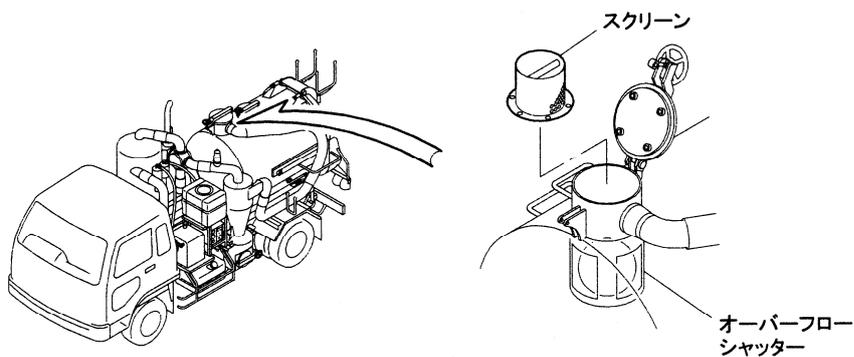
☆粉体吸込み作業時の注意

1. エンジン回転数をなるべく下げて作業してください。
2. ホッパ内の吸込み物を排出するときは、同時にサイクロン内を清掃してください。
3. 作業中ブロウドレンコックを時々(30分に1回程度)開けて、ブロウ内部のゴミを排出させてください。
4. 粉体吸込み作業の場合、オーバーフローシャッタが働かない為、オーバーフローに注意してください。
(粉体吸込み作業を行う場合は、オプションのレベルセンサの取り付けをお勧めします。)
5. サイレンサーの水が汚れたら、早めに交換してください。汚れがひどい場合ブロウシールが早期摩耗する場合があります。
6. 作業が終了したら直ちに各部の洗浄を行ってください。
(4-10 作業終了後の取扱い参照願います。)
7. 頻繁に粉体吸込み作業を行う場合は下記オプションの取り付けをお勧めします。
 - ①サイクロン粉体装置取付け。
 - ②ブロウ上部吸込みパイプ・サイクロン上部に洗浄用点検口の取付け。
 - ③ブロウ上部吸込みパイプ洗浄用ホース配管の取付け。

【注意】セメント粉の吸込みはブロウ吸込み口の水に付着して凝固し閉塞する危険性がある為、行わないでください。

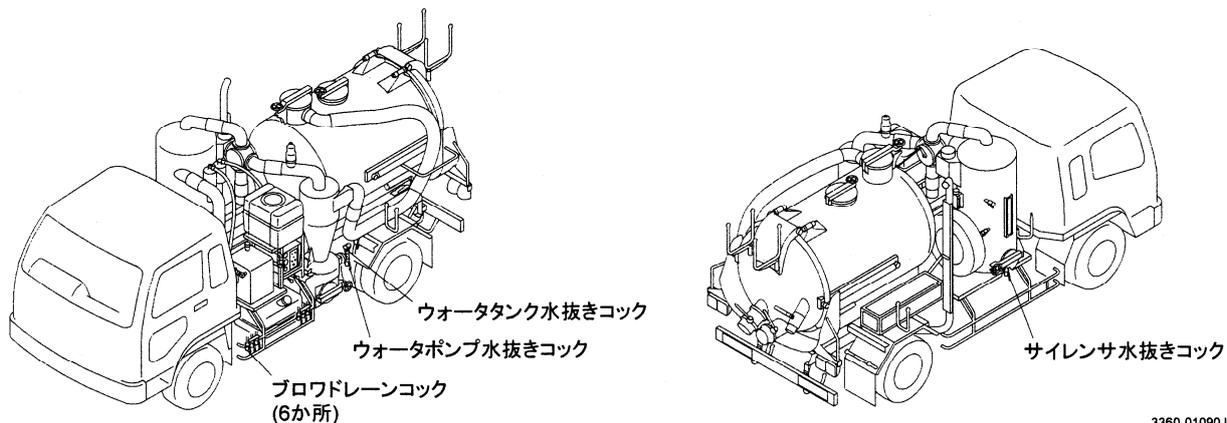


- (1) 排出作業が終わったらサクシオンホース、ホッパ内部を水洗いします。特にホッパドアのパッキン部は十分に洗浄してください。
 またホッパ上部カバーを開けて異物捕捉用スクリーン部のゴミを取り除き、オーバーフローシャッターと共に水で洗浄してください。



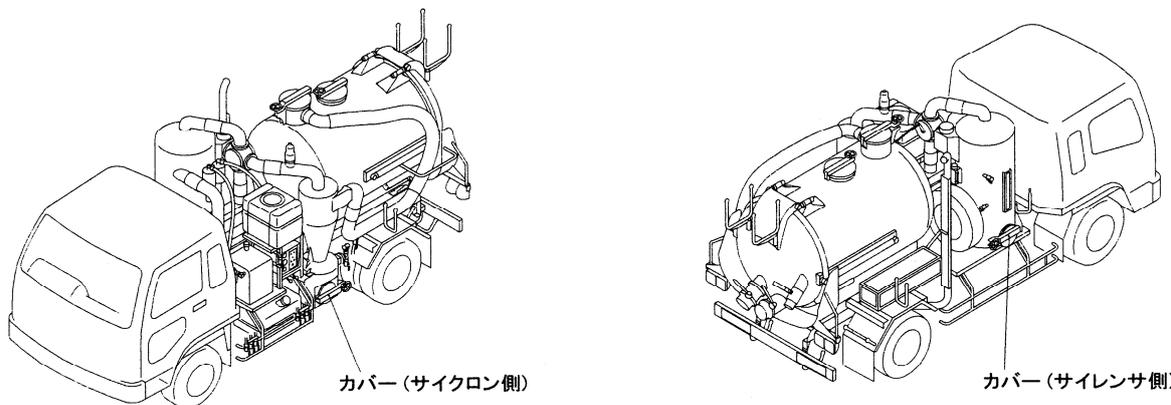
3360-01080J

- (2) ブロウ、ウォータータンク、サイレンサ、水配管、ウォーターポンプなどの各ドレーンバルブを開けて内部の水を排出します。



3360-01090J

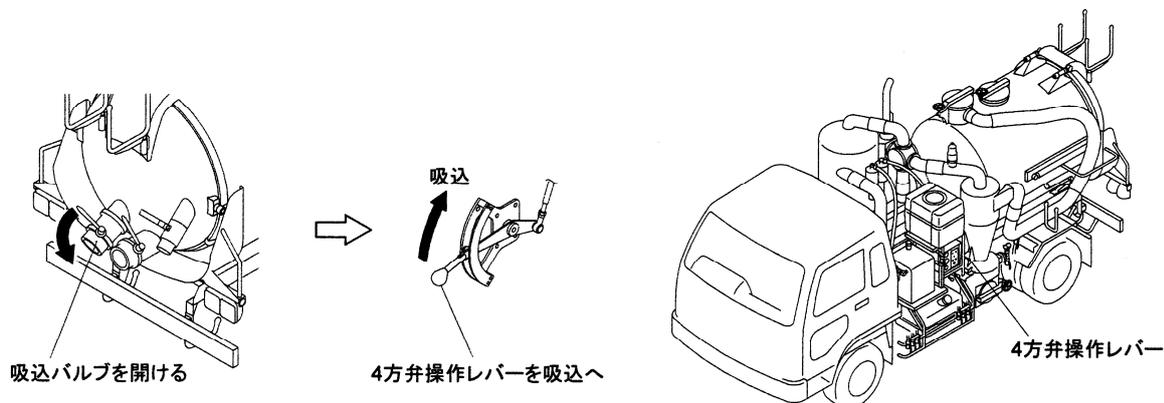
- (3) サイレンサ、サイクロンのカバーを開けて内部のゴミを取り除き、水で洗浄してください。洗浄後は各扉を完全に閉めてください。



3360-01100J

(4) 再度、サイレンサに清水を規定量まで注入します。

ホップ吸込みバルブを開け、4方弁操作レバーを吸込み位置で、ブロワを約5分程度回し、ブロワ内部を洗浄してください。

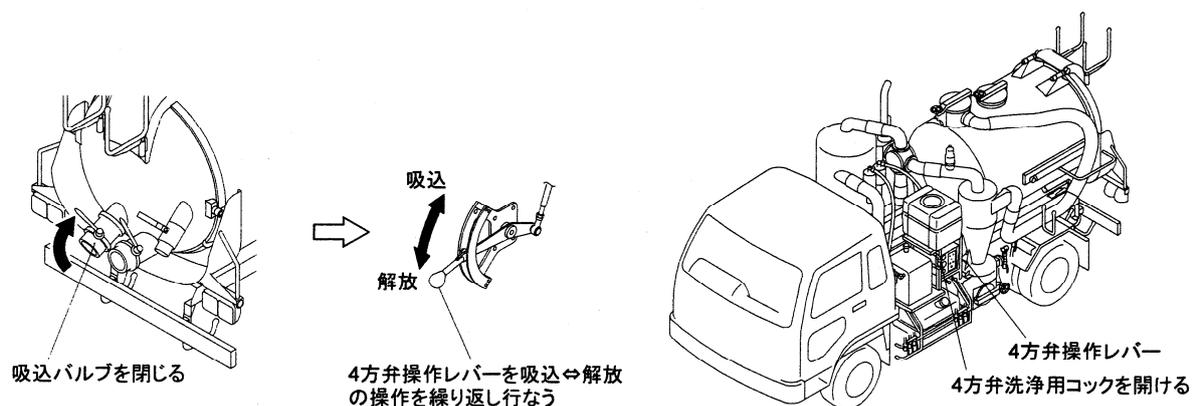


3360-01110J

(5) 4方弁洗浄バルブを開いて4方弁、ブロワ吸込み口の洗浄をしてください。

ホップ吸込みバルブを閉じ、4方弁洗浄バルブを開いて4方弁内部を洗浄してください。

このとき、4方弁操作レバーで吸込⇄解放の操作を数回繰り返して行ってください。

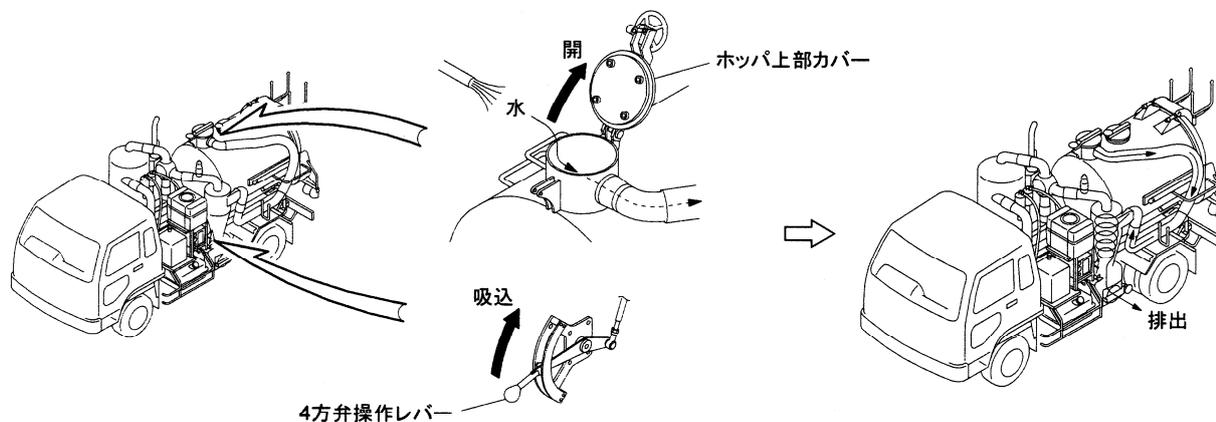


3360-01210J

(6) ホッパ上部カバーを開け、4方弁操作レバーを吸込み位置にして配管内に水を吸込みさせて、配管内及びサイクロン内を洗浄します。

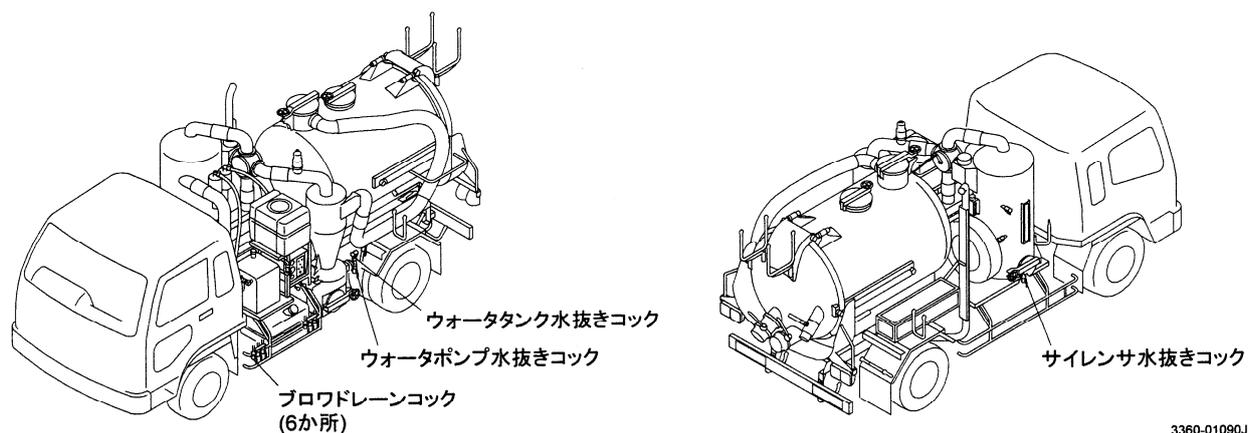
30秒ほど吸込ませたあと、サイクロン下部カバーを開け、内部に溜まった水を排出します。

水がきれいになるまで2～3回繰り返してください。



3360-01120J

(7) ブロワ、サイレンサのドレインバルブを開けて、内部水を排出します。



3360-01090J

⚠ 注意

凍結のおそれがある場合はすべてのドレインバルブから完全に排水してください。
残っている水が凍結すると関連の機器類や水配管などが破損するおそれがあります。

(3360-0066-0J)

(8) 各ドレインバルブを完全に閉めてください。

(9) ホッパドアパッキンの保護のため、車の保管時はホッパドアを少し開けておいてください。

長期にドアを空けていた場合、ドアレバーを開側に押して、ドアロックが開ききったのを確認してからドアを閉めてください。

⚠ 注意

走行および作業時は、必ずドアを確実にしめてください。

(3360-0067-0J)